



ぶつみょうえ
佛名会および浄焚会

十二月十日(日)

昨年と打って変わって、ことはエル
二一ニヨ現象により暖冬が予報されてい
ます。十一月の上旬には各地で夏日が観
測されましたが、十一月の中旬には寒波
が襲来しました。「今年は秋が短かった」
というのが巷の感想ですが、はたして冬
本番はどうなることでしょうか。

さて、恒例の佛名会を勤めます。

佛名会は新年を迎えるにあたり、過ぎ
ゆく一年の罪障の消滅を願う法要です。
また、塔婆回向をしてご先祖のご供養を
いたします。先祖回向は大変よい功德
を積む善行です。下
記の要領でお申し込
みください。今年も
昨年同様チラシ寿司
を配布する予定です。
お誘い合わせてお参
りください。

法要の様子を Youtube で配
信します。検索ウィンドウ
で daihoji_live と入力し
て検索してください。



〒915-0823
福井県越前市本町 10-2
親縁山普照院
大寶寺

TEL/FAX (0778) 22-1682
http://www.daihoji.com
e-mail: info31@daihoji.com

浄焚会 (お焚きあげ) のご案内



12月10日の佛名会の終了
後、午後3時頃より浄焚会
を執り行います。古い戒名
札やお位牌、お経の本、木
魚など一般のゴミとして処

分することがためられる物品を、
ご回向をした上でお焚き上げしま
す。ご希望の方は当日までに寺に
お預けいただくか、当日、帳場
にお持ちください。無料ですが、お
賽銭などあげて頂ければ幸いです。



大寶寺 佛名会のご案内

○十二月十日(日)

午前九時から法要開始
午前九時半から
十時半頃まで塔婆回向
休 憩
午前十一時から
十二時頃まで塔婆回向
休 憩
午後一時半から
二時半頃まで塔婆回向
午後三時頃から 浄焚会

回向師 鯖江市長泉寺町
西福寺
金子善雄 上人

佛名会塔婆回向のお勧め

大寶寺の佛名会では各家のご先祖のご回向を承っております。回向料
は、一霊につき六百円です。

佛名回向申込書には、以前にご回向をしていただいたご先祖、また、没後、
五十年までの貴家のご先祖の戒名が印刷されています。□の中に✓をご記入い
ただき回向をご希望の方をお知らせ下さい。また、リストにない貴家のご先祖、
あるいは他家のご先祖のご回向も承ります。その場合は、申込用紙の枠内にご
先祖の戒名を記入してください。

回向料は ①振込用紙をご利用していただく。

②前もってお寺にお持ちいただくか、当日帳場にて納めてください。

現金書留など他の方法の場合は③その他の所にご記入ください。

なお、ゆうちょの振込料金や塔婆など、従来より経費がかさみますので、振込
手数料のご負担をお願い致します。

お寺にお参りいただける場合は、来寺の有無の①に 9:30 ~ 10:30、11:00 ~
12:00、13:30 ~ 14:30 の範囲で、おおよその時間をご記入ください。大勢の
方の戒名をお読みしますので、時間に余裕をもってお越し下さい。来寺できな
い場合は②に○をつけて下さい。

塔婆に戒名を書くなど準備が必要で

るので、郵送に時間がかかるため、申込用紙はできるだけ12月5日頃までに
個人情報保護シールを貼って投函してください。12月10日以降に申込が
届いた場合は、朝のお勤めのときにご供養を致します。

回向、功德、随喜 先立たれた先祖を回向することは、仏さまからよい
報いをいただける善行、すなわち功德を積むことです。そのようにして私
たちが功德を積む様子を見て、ご先祖さまはお浄土で随喜(他者が功德を
積むのを見て、心に喜びが生じること)なさいます。



親縁山 大寶寺 佛名回向申込書

ご芳名 堀 美代子 様

回向をご希望なされる霊位の□に✓をご記入ください。

戒 名	行 年
<input checked="" type="checkbox"/> 功堂光徳禪定門	平成13年
<input checked="" type="checkbox"/> 清玉妙観信女	平成7年
<input type="checkbox"/> 明岳徳照信士	平成7年
<input checked="" type="checkbox"/> 藤花久忠信士	昭和42年
<input type="checkbox"/> 雲峯光明禪定尼	昭和47年
<input type="checkbox"/> 堀家先祖代々	

上記以外の方のご回向のご希望の場合は下に戒名、
俗名、命日などご記入ください。

回向する霊位の数(3) × 600円 = 1,800 円

回向料支納 ①振込用紙利用 ②寺に持参
③その他()

来寺の有無 ①()頃来寺
②来寺できない

※ 該当する部分にご記入いただくか、○で囲んでください。

準備の都合上12月15日までにご投函下さい。

トピックス

「十夜法要」十一月十一日
 例年、十一月十四日に執り行ってきた十夜法要を、参詣者の便宜を図るため、今年は十一月十一日の土曜日に実施しました。おかげさまで、大勢の参拝をいただきありがとうございます。

今年、金沢市寺町にある大円寺の高野英修上人をお招きして、午後と夜の二席のご法話をさせていただきました。また、昨年同様、有志の方々の協力をいただき、参拝者に炊き込みご飯をお持ち帰りいただきました。来年も十一月の週末の実施を予定しておりますのでよろしくお願致します。



ご案内



大みそか恒例の紅白歌合戦が終わる11時50分頃から、大寶寺の周辺寺院がいつせいに除夜の鐘をつき始めます。一般の方もお寺の鐘をついていただくことができます。中には、複数の寺院を回る方もおられます。また、除夜の鐘について、一年を締めくくり、お総社に初詣でをして、心新たに一年を始めたいかがでしょうか。

五重相伝開闢 令和7年10月

五重相伝とは、5つの法を学ぶことによって、念仏の教えの肝要を学ぶという浄土宗独特の法会です。当山では令和7年10月9日から13日にかけて実施します。

徳川家康公は「厭離穢土、欣求浄土(穢れたた現世を厭い、浄土に往生することを心から願う)」を旗印に天下を統一されましたが「生涯に二度五重相伝をうけられ、陣中においてもお念仏申すことを絶やさな敬虔な念仏者」であったそうです。



五重相伝の受者には生前に戒名が授与されます。

濁中蓮華

憂き世の処世術

幼い子供達が無邪気に遊んでいるのを見ると、心が弾みます。例えば、越前市の中央公園にある「ふわふわ雲のトランポリン」の上で子供達がピョンピョン跳ねているのを見ると、それだけで嬉しくなります。

仏教には随喜という言葉があります。随喜とは「他人のなす善を見て、それに従い喜びが生じること」です。子供達は取り立てて良い行いをしているわけではありませんが、子供達が楽しそうにしているのを見ると、それにつられて、楽しくなるのですから、これを随喜と呼んでも、あながち的外れではないでしょう。

逆にロシアとウクライナの戦いなどで、子供たちが傷ついたり、命を落としたりするのは見ると、それがテレビの画面越しであっても悲しくなります。これは「随悲」と呼ぶことができます。

メディアを通して、政治や経済上の対立や腐敗、また、殺人、暴行、恐喝、詐欺、横領、などの犯罪行為、悲惨な事故や災害、セクハラやパワハラ、いじめなどの人権侵害などが、毎日のようにニュースとして取り上げられます。

直接そのようなことに巻き込まれなくても、見聞きするだけで、心に悲しみや、憂い、また時には怒りが湧きあ

がり気分が滅入ります。放っておくと鬱などの病的症状が現れかねません。どうすればよいのでしょうか。

「一文不名念仏をお勧めします。」「一文不知の愚鈍の身」であることを自覚して、一向にお念仏を称えるとき、阿弥陀仏の計らい、すなわち他力によって、心の中にどよむ様な負の想念が「お湯が雪を消す」ごとくに消えると仏名経に説かれています。

その上で、日々の生活の中で、功德を積むことをお勧めします。

功德とは「神仏から良い報いを与えられるようなよい行い」のことですが、周りの人々の心に随喜を生じます。随喜を得た人は、きっと自らも功德を積もうとするに違いありません。

心の喜びや安らぎは波のように周囲に伝わり広がります。悲しみや憂い、怒りにも同じです。

自らの心を整え、功德を積むというのは回りくどいようでも、私たち一人一人が実践できる世の中を良くするための確実な方法ではないでしょうか。

合 掌

随喜と随悲・随怒・随憂

随喜とは「他者のなす善を見て、これに従い喜びの心が生じること」と定義されています。「喜」の対義語として「悲」「怒」「憂」があります。辞典にはありませんが、「随悲」「随怒」「随憂」ということばがあってもよさそうです。「他者のなす悪を見て、これに従い心に悲しみ、怒り、憂いの心が生じること」という意味です。